

C-19	育成する資質・能力から考える図画工作科の授業						
研修の目標			対象と定員				
教科「図画工作」の目標及び内容を具現化する授業づくりについての実践的な研修を通して、指導力の向上を図る。			幼保認	(小)	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 18名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容					指標における主な項目	
6/21 (金) 10:00～16:15	○図画工作科における授業づくりのポイント (講義・協議・演習)					教科等指導力①②④	
	○図画工作科における鑑賞活動の充実(講義・協議・演習) 秋田県立近代美術館 学芸主事 木村 雅洋					教科等指導力①②	
	○活動の過程を重視した指導と評価の充実 (講義・協議)					教科等指導力①②④	
携 行 品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小学校学習指導要領解説」図画工作編（平成29年、文部科学省）</li> <li>・自校で使用している教科書（担当学年のもの）</li> <li>・実技での汚れ対策用の服装（絵の具等を使用）</li> <li>・演習で製作した作品を撮影するためのデジタルカメラ等</li> </ul>						
担当者からの メッセージ	<p>表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた授業づくりや、児童の活動の過程を重視した評価の在り方などについて研修します。また、鑑賞活動の充実に向けて、近代美術館の学芸主事から、秋田県の美術作品について紹介いただき、鑑賞活動を進める上でのポイントについて、演習を交えて御指導いただきます。</p>						

(連絡先：教科・研究チーム TEL 018-873-7203)